

桃園第二小学校代替校舎整備の経緯等について

桃園第二小学校代替校舎整備にかかるこれまでの主な経緯等について整理するとともに、小中学校施設整備にかかる今後の取組について、下記の通り報告する。

記

1 主な経過について

日時	内容
令和元年10月8日	子ども文教委員会「中野本郷小学校及び桃園第二小学校の校舎建て替え手法に係る検証結果について」を報告 ※桃園第二小学校の代替校舎は、令和小学校跡施設
令和2年12月2日	子ども文教委員会「区有施設配置の考え方について」を報告 ※桃園第二小学校の代替校舎を中野中学校跡施設に変更
令和3年3月15日	子ども文教委員会において、中野中学校跡施設の代替校舎整備費については「数億から10億円」と答弁
令和3年10月7日	子ども文教委員会「中野区立小中学校施設整備計画(改定版)の策定について」を報告
令和4年6月10日	「中野中学校跡施設耐震診断・耐震補強その他工事実施設計業務委託」契約(～令和5年5月31日まで)
令和4年9月22日	「中野中学校跡施設代替校舎等整備基本設計支援業務委託」契約(～令和5年2月10日まで)
令和5年1月31日	子ども文教委員会「桃園第二小学校新校舎整備等にかかる進捗状況について」を報告 ※桃園第二小学校の新校舎整備についての遅延等を報告、代替校舎整備費について「約35億円」と答弁
令和5年3月7日	子ども文教委員会「桃園第二小学校新校舎整備にかかる代替校舎整備について」を報告 ※中野中学校跡施設の内装工事基本設計(案)について報告
令和5年3月28日	「中野中学校跡施設内装改修その他工事実施設計業務委託」契約(～令和6年5月31日まで)
令和5年6月30日	子ども文教委員会「桃園第二小学校校舎等整備基本構想・基本計画(案)について」を報告

2 今後の予定について

令和5年10月～令和6年10月 耐震補強工事

令和6年12月～令和8年 3月 内装等工事

令和8年 4月 代替校舎供用開始

3 改修経費について

(1) 改修想定経費について

時期	令和3年3月	現在
想定経費	数億～10億円	約30億円
根拠	過去に区で実施した小中学校の内装改修工事（学校再編工事）および耐震補強工事を類似工事として算出	設計結果による。

(2) 想定工事費増の要因について

増要因	内容
■耐震補強工事費の増加について	○令和4年度に実施した耐震診断の結果、耐震補強自体は可能と判明したが、想定以上の耐震補強工事が必要となり、工事費が増加した。
■過去の学校再編工事との違いによる内装工事費の増加について	○小学校仕様への変更 中学校を小学校に転用するにあたり、4階部分を見童が使用する場合、東京都建築安全条例により、各室の内装制限や4階の排煙設備等が課せられるため、これらの関係工事費が増加した。 ○電気・機械設備更新 設備の寿命や長期間の不使用により、電気・機械設備の配管、配線、制御盤等が使用不能となったため、全設備の更新が必要になるなど工事費が増加した。 ○桃花小学校の代替校舎活用 桃園第二小学校改築後、桃花小学校の代替校舎として使用するにあたり、普通教室数がさらに増加するため、新たに屋内プールを特別教室へ改修するなど校舎全域に工事範囲がおよぶこととなり、工事費が増加した。
■工事費高騰の影響について	○今般の材料費や人件費の高騰の影響により、対象工事（内装工事および耐震工事）の工事費が増加した。

4 今後の進め方について

今後の検討にあたっては、以下の取組みを行い、設計、工事経費や整備スケジュール等の精度向上を図っていく。

(1) 現地調査の実施および現況把握

現地調査を実施し、施設整備(代替校舎整備含む)にむけた法的規制、敷地条件、周辺環境等の現況を把握する。

(2) 施設整備にあたっての課題の洗い出し、与条件の整理

上記現地調査で判明した整備対象校にかかる諸条件から、施設整備にかかる課題の洗い出しを行い、改築校舎(代替校舎含む)のボリューム検討を含め、実現可能性を整理する。

(3) 施設整備方針、工期、整備スケジュール等の検討

上記、改築校舎(代替校舎含む)にかかるボリューム検討、実現可能性をふまえた施設整備方針を策定し、設計、工期スケジュールの検討および設計、工事費の概算経費を算出する。

(4) 庁内体制の強化

各所管部署との連携強化や学校整備にかかる知識・ノウハウの蓄積と共有の強化に取り組んでいく。